

鹿児島新時代

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、かねてから、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

我が国は、現在、グローバル化の急速な進展や本格的な人口減少、超高齢社会の到来など大きな変革期を迎え、これまで社会を支えていた様々なシステムが見直しを求められています。また、我が国の将来像が不透明になり、国民の間に漠然とした閉塞感が生じつつあります。

このような中であって、私は、「かごしま将来ビジョン」やマニフェストに基づき「持続可能性への挑戦」、「産業おこしへの挑戦」、「鹿児島おこしへの挑戦」の三つの挑戦に引き続き取り組むとともに、21世紀における人類の共通の課題である「環境」、「食料」、「医療・福祉」に重点を置きつつ、子どもからお年寄りまですべての県民が生涯を通じて安心して暮らすことができ、自らの人生や、ふるさとに夢と誇りを持てる優しく温もりのある社会を構築するために、全力を傾注してきたところです。

昨年は、宮崎県で口蹄疫が、八代海では赤潮が発生し、さらに集中豪雨など大きな災害も発生しました。口蹄疫では、県民一丸となって県内への侵入防止に努め、災害では、関係機関に迅速な活動をしていただきました。とりわけ、奄美地方の災害では「結いの精神」による助け合いが随所に見られたほか、全国からも数多くの善意が届けられました。

御支援、御協力いただいた県内外の方々にあらためて感謝申し上げます。



さて、いよいよ3月12日には県民悲願の九州新幹線鹿児島ルートが全線開業します。これにより、鹿児島から青森まで日本列島が大きな動脈で結ばれ、大阪まで乗り換えなしで最速3時間45分となります。全線開業は、商圏の拡大や交流人口の増加など、鹿児島にとって新しい時代の幕開けになるものだと思います。

この千載一遇のチャンスを生かすべく、本県では、「増やす」、「広げる」、「活かす」の三つの視点で、本県が持つ本物の魅力の情報発信や二次交通アクセスの改善などに努め、その効果を県下全域に拡大・波及させたいと考えています。

また、開業時には、「新たな交流のはじまり『往来、オーライ!』」をテーマにした開業イベントを開催するとともに、3月18日から66日間にわたって「全国都市緑化かごしまフェア（花かごしま2011）」を県下各地で開催し、全線開業を大いに盛り上げることにしています。

鹿児島は、豊かな自然・食料・歴史・文化・人情など、全国に誇れる「本物」の素材に恵まれています。時代や環境が大きく変化する中にあっても、本県の可能性を強く信じ、希望を持って、様々な問題に取り組み、「カミナギる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」づくりに果敢に挑戦してまいりますので、引き続き、県政に関心をお寄せいただき、御支援・御協力くださるようお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちた明るい一年となりますことを心から祈念いたします。



平成二十三年元旦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎